

令和6年度 人文学部の卒業論文履修上の注意事項

- (1) 卒業論文の提出は、卒業予定の年次に限る。卒業見込でない者は、卒業論文提出の資格はない。
 - (2) 卒業論文を選択する者は、卒業論文の単位以外に卒業に必要な単位数を登録することが望ましい。
〔歴史学科、日本語日本文学科を除く〕
 - (3) 卒業論文を登録した者は、指導教員の承諾を得たうえで、卒業論文の題目を卒業予定年次の6月末日までにFUポータルのお知らせへ掲載されるアンケートフォームより提出する。
 - (4) 卒業論文は、12月20日（当日が土曜日、休日の場合は12月21日又は12月22日）正午までに教務二課（人文学部）に提出しなければならない。
 - (5) 歴史学科の学生は、4年以上在学し、卒業論文以外の卒業に必要な単位の残りが4単位以内の者に限り、卒業論文を前期授業最終日の正午までに提出することができる。但し、前年度に卒業論文を登録し題目届を提出した者に限る。
 - (6) 卒業論文の形式は、学科別に次のとおり定める。
- (注) 教育・臨床心理学科においては、「卒業論文」を「卒業研究」と読み替える。

【文化学科】

1. 卒業論文の形式は、次のとおりとする。
 - (イ) 文字数は2万字前後とし、ワープロソフト等を使用し原稿を作成すること。体裁は指導教員と相談すること。
 - (ロ) 装幀は、大学指定の黒表紙に白の背表紙をつける。
2. 卒業論文提出後、主査・副査による口頭試問を受けなければならない。

【歴史学科】

1. 卒業論文の形式は、次のとおりとする。
 - (イ) 文字数は3万字以上（註・図表等を含む）とし、ワープロソフト等を使用し原稿を作成する。
 - (ロ) 用紙はA4判を使用し、体裁の詳細については各専修の指示に従うこと。
 - (ハ) 装幀は、大学指定の黒表紙に白の背表紙をつけ、背表紙にタイトル・学籍番号・氏名を明記する。
2. 卒業論文提出後、主査・副査による口頭試問を受けなければならない。

【日本語日本文学科】

1. 卒業論文の形式は、次のとおりとする。
 - (1) ワープロソフト等を使用し原稿を作成する。
 - (2) 分量は、400字詰原稿用紙50枚以上とする。
 - (3) 装幀は、大学指定の黒表紙に白の背表紙をつける。
2. 卒業論文提出後、指定された日に口頭試問を受けなければならない。

【教育・臨床心理学科】

1. 卒業研究の形式は、次のとおりとする。
 - (1) A4 判用紙に横書き、1 ページに 40 字×30 行を目安として、表紙と目次、参考文献を除き、本文 14 ページ (16,000 字相当) 以上とする。これに加えて、電子媒体等で作成物を添付してもよい。様式等は指導教員の指示に従うこと。
 - (2) 装丁は左綴じとし、大学指定の黒表紙をつける、もしくは市販の二穴ファイルに綴じること。
2. 卒業研究を電子媒体で提出することを希望する場合は、指導教員の許可を得た上で、学科の定める方法により提出することを許可することがある。
3. 卒業研究提出後、指定された日に研究発表を行うものとする。

【英語学科】

1. 卒業論文の形式は、原則として次のとおりとする。
 - (1) 英文の場合は、A 4 判用紙に 1 枚 65～70 字×25 行を目安として 20 枚以上とする。
 - (2) 和文の場合は、A 4 判用紙に 1 枚 35 字×20 行を目安として 20 枚以上とする。
手書きの場合は 400 字詰め横書き原稿用紙を使用する。
 - (3) 注 (Notes) をつける場合は後注、脚注のどちらを選んでもよい。
 - (4) 引用頁は () 内に示し、末尾に引用文献 (Works Cited) を付す。
 - (5) シノプシス (論文の概要) は A 4 判用紙に 2 枚までとする。この言語は本文に使用する言語に関係なく、日本語と英語のどちらを選んでもよい。書式は上記 (1) または (2) に準じる。
 - (6) その他の書式は *MLA Handbook for Writers of Research Papers* などの標準的な書式に従う。
 - (7) 装丁は指定された市販の二穴ファイル (A4 サイズ) に綴じる。
2. 担当指導教員が認める場合に限り卒業論文及び卒業研究の電子ファイルでの提出も認める。詳細に関しては 11 月中頃 FU ポータルに掲示する。
3. 卒業論文提出後、指定された日に口頭試問を受けるか、あるいは口頭発表を行うものとする。

【ドイツ語学科】

1. 卒業論文の形式は、次のとおりとする。使用言語は日本語・ドイツ語・英語のいずれかとする。なお、情報処理機器 (パソコン等) を用いた執筆を原則とする。
 - (1) 邦文の場合
 - (イ) A 4 判用紙を用い、1 ページ 40 字×30 行を目安に印字する。
 - (ロ) 本文および注をあわせた分量は、16,000 字以上とする。
 - (ハ) 注は、脚注、後注のどちらを選んでもよい。
 - (ニ) 装丁は、大学指定の黒表紙に白の背表紙をつけ、左綴じにする。
 - (ホ) 邦文・独文・英文いずれかのレジュメをつける。分量は、A 4 判用紙に邦文の場合は 1 ページ 40 字×30 行、欧文の場合は 1 ページ 80 字×30 行を目安に印字し、2 ページ前後とする。
 - (2) 独文・英文の場合
 - (イ) A 4 判用紙を用い、1 ページ 80 字×30 行を目安に印字する。
 - (ロ) 本文および注をあわせた分量は、10,000 語以上とする。
 - (ハ) 注は、脚注、後注のどちらを選んでもよい。
 - (ニ) 装丁は、大学指定の黒表紙に白の背表紙をつけ、左綴じにする。
 - (ホ) 邦文・独文・英文いずれかのレジュメをつける。分量は、A 4 判用紙に邦文の場合は 1 ページ 40 字×30 行、欧文の場合は 1 ページ 80 字×30 行を目安に印字し、2 ページ前後とする。
2. 卒業論文提出後、指示により主査・副査による口頭試問を受けるか、あるいは口頭発表を行うものとする。

【フランス語学科】

1. 卒業論文の形式は、原則として以下のとおりとする。
 - (1) 日本語の場合
 - (イ) 分量 1 ページ 40 字×28 行を目安として、目次、表、注、参考文献を含めて 15 ページ (16,000 字) 以上とする。
 - (ロ) 用紙 A4 判用紙に印刷する。
 - (ハ) 要約 1 ページ 80 字×28 行を目安として、2 ページ (4000 字) 程度 (スペースを含まない) のフランス語の要約を巻頭につける。
 - (ニ) 装幀 大学指定の黒表紙に白の背表紙をつけて横綴じにする。
 - (2) フランス語の場合
 - (イ) 分量 1 ページ 80 字×28 行を目安として、目次、表、注、参考文献を含めて 15 ページ (32,000 字) 以上 (スペースを含まない) とする。
 - (ロ) 用紙 A4 判用紙を使用する。
 - (ハ) 要約 1 ページ 40 字×28 行を目安として、2 ページ (2000 字) 程度の日本語の要約を巻頭につける。
 - (ニ) 装幀 日本語の場合に同じ。
2. 卒業論文提出後、指定された日に指導教員による口頭試問（面接指導）を受けるか、あるいは口頭発表を行うこととする。

【東アジア地域言語学科】

1. 卒業論文の形式は次のとおりとする。
 - (1) 使用言語は日本語または中国語・朝鮮語とする。日本語を使用した場合は、専攻言語による論文要約を付けること。中国語または朝鮮語を使用した場合は、日本語による論文要約を付けること。
 - (2) PC 等を用い A4 用紙 (1 ページ 40 字 40 行) で作成する。
 - (3) 分量は、本文、注を合わせて 16,000 字以上とする (タイトル、目次、図、表、参考文献は分量に含めない)。
 - (4) 装丁は、大学指定の黒表紙に白の背表紙を付け、横綴じとする。
 - (5) 論文要約は 400 字以内で記すこと。
2. 卒業論文提出後、口頭試問を受けるか、口頭発表を行うものとする。